



ふるさと大野

令和7年6月30日

NO. 3

文責 宇田津

どんよりとした梅雨空が続き、これから梅雨末期の大雨に警戒をと思っていたところに梅雨明けしたとのこと……。今度は逆に水田や野菜畑の水不足が心配されることとなりました。熱中症にも警戒しながら、子供達には元気に過ごしてほしいと思います。

他校との交流の場でも、力を発揮しています!!

集団宿泊教室

佐敷小学校の5年生36名と合同で行いました。本校児童は4名ですが、物怖じすることなく積極的に活動し、交流を深めていました。リーダー性を発揮する場面もあり頼もしかったです。



葦北郡小学校ソフトバレー大会

田浦小学校と佐敷小学校の6年生と本校5・6年生との3チーム総当たり戦で、パート優勝しました！ 特にうれしかったのは、チームワークが良かったことです。得意、不得意の差はあって当たり前。その中であって、ミスがあっても自分のできることに勇気を出してがんばり、それを温かく励ましカバーし合う姿がありました。様々な人とともに活動する学校という場だからこそ、学べる、学んでほしいことですね。



大野だからできる体験活動！（6月）

緑の少年団発会式

徳尾PTA会長から、任命書を渡してもらいました。任命書には、「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育てる心を養う」ことを通して自然を愛する…とありました。これまで行ってきた活動の意味を再確認する場となりました。



田植え

カンボジア支援事業の一環として、坂梨さんが管理されている水田にて田植えを行いました。芦北町国際交流協会の方々のお手伝いもいただきながら、腰をかがめ慣れた(!?)手つきで次々と田植えをしていきました。米づくりのたいへんさも学びながら、その生長を楽しみにしてほしいと思います。



心のきずなを深める月間

～♪ 朝な夕なに睦み合い 心のきずな深めなん～
本校の校歌の1番の歌詞にもある「きずな」について考える月間となります。私からは、人と人との心をつなぐ「言葉の大切さ」について話しました。

何気なく発する言葉が人を傷つけることがあることや、聞こえるだけで嫌な気持ちになる言葉があることをみんなで確認しました。



人を傷つけるのも言葉、人をいたわり、励まし、勇気づけるのも言葉…。言葉を正しく使って、学校でみんなと過ごすからこそがんばれることや、ともに喜び合えることを積み重ね、「心のきずな」を深めてほしいと思います。

プール開き

梅雨の合間の一瞬の晴れ間をついて、プール開きを行うことができました。水はまだ少し冷たかったようですが、子供達の歓声がプールに響きました。保護者の皆様・地域学校協働本部の方々には、おいそがしい中に（そして雨の中…）プール掃除にご協力いただきありがとうございました。



追伸

5月29日（木）に佐敷中学校区学校運営協議会が行われました。本会設立の趣旨は、「保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援・協力の促進により信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む」です。昨年度も各校を会場に会が運営され、様々な情報交換や協議がなされました。リレーマラソンやおばあちゃんの台所等も本会と関連して行われたものです。今年も更なる活動の充実を願って運営されておりますのでお知らせします。

